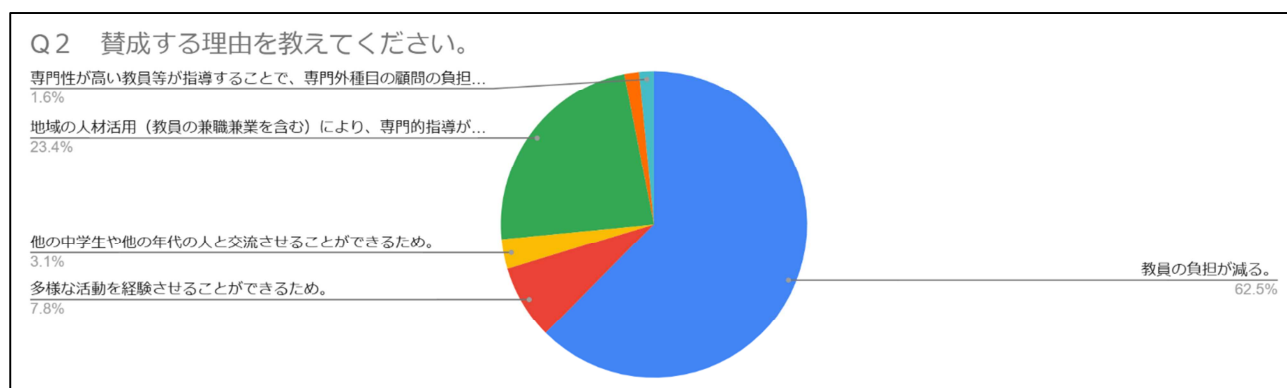
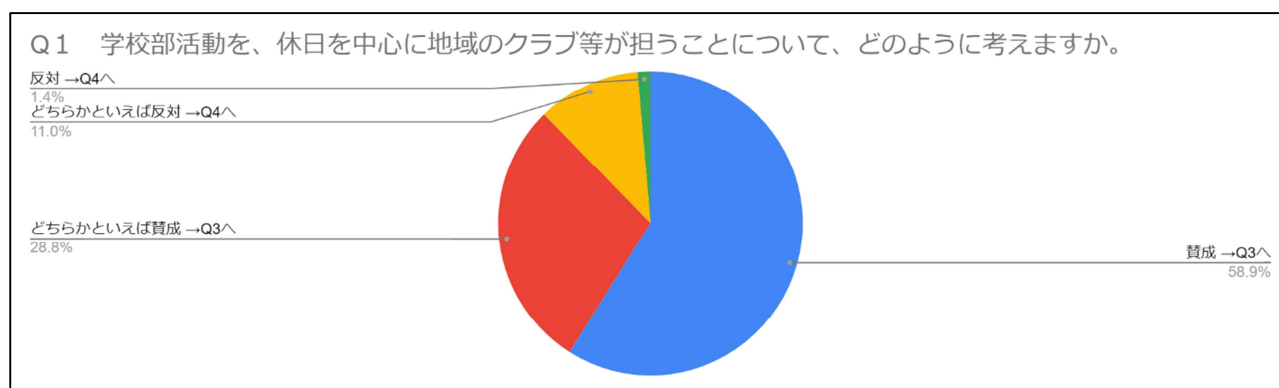
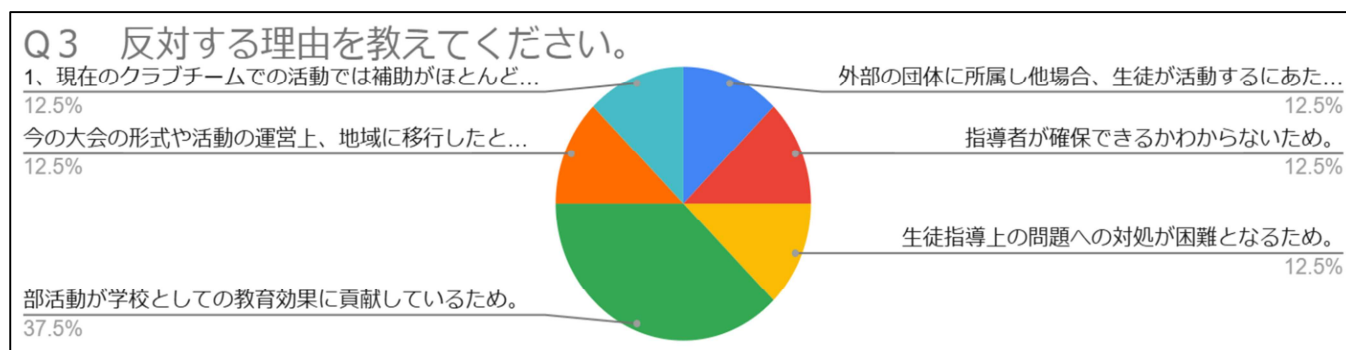




※専門性が高い教員等が指導することで、専門外種目の顧問の負担減にもつながると思います。・・・1.6%

※地域の人材活用（教員の兼職兼業を含む）により、専門的指導ができるため。・・・23.4%

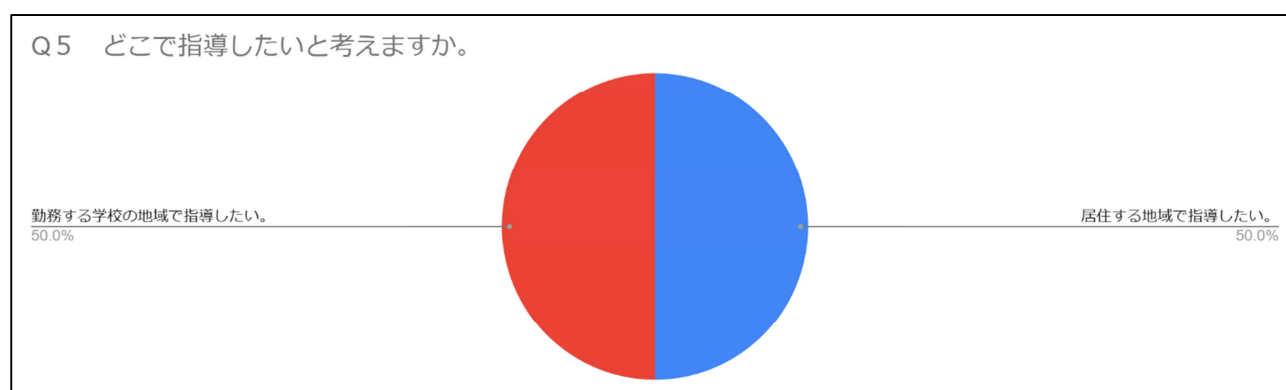
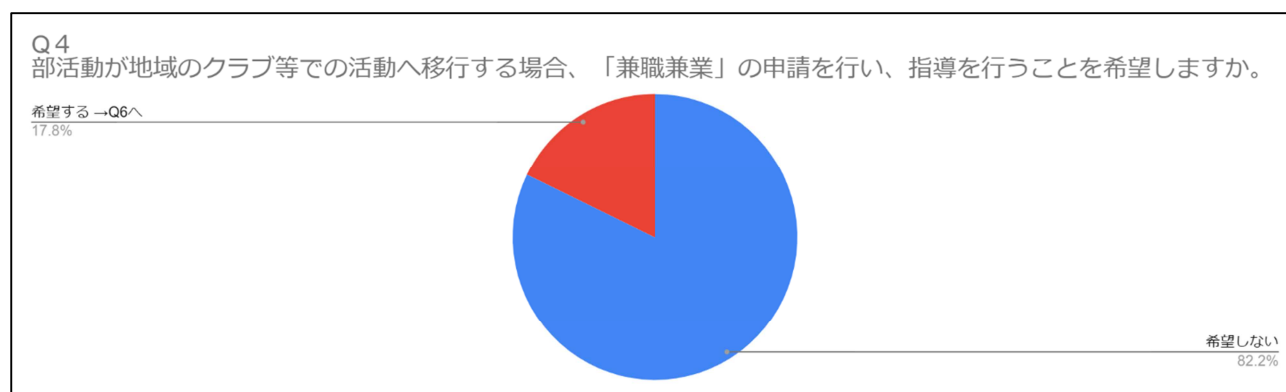


※1、現在のクラブチームでの活動では補助がほとんど出ず、大会の送迎代など、金銭的に厳しい団体があるため。 2、運動系のクラブは多くあるが、文化系、特にお金が多くかかる金管楽器などの吹奏楽のクラブがほとんど存在しないため。

※今の大会の形式や活動の運営上、地域に移行したところで大会運営は教員側がやらなければならない。今の大会をどうしていくか、地域移行した後に何を目的に活動させるのか、部活動だから活動できていた家庭が、地域移行後に子どもがやりたいといったことをやらせられるのかどうか、そこまで考えてないと結局教員の業務負担の軽減にもならない上、子どもの活動機会を奪うだけで何のメリットにもならないと考えているため。・・・12.5%

※外部の団体に所属した場合、生徒が活動するにあたり費用的な負担を強いられるようになると、家庭環境によっては活動の場を取り上げてしまうことになる。費用の負担をなくしてだれもが参加でき

る環境を整えるのであれば同意できる。結果的に送迎なども含めて家庭の負担が増えるようであれば本当に生徒のことを考えての対応とは思えない。・・・12.5%



教職員の意見

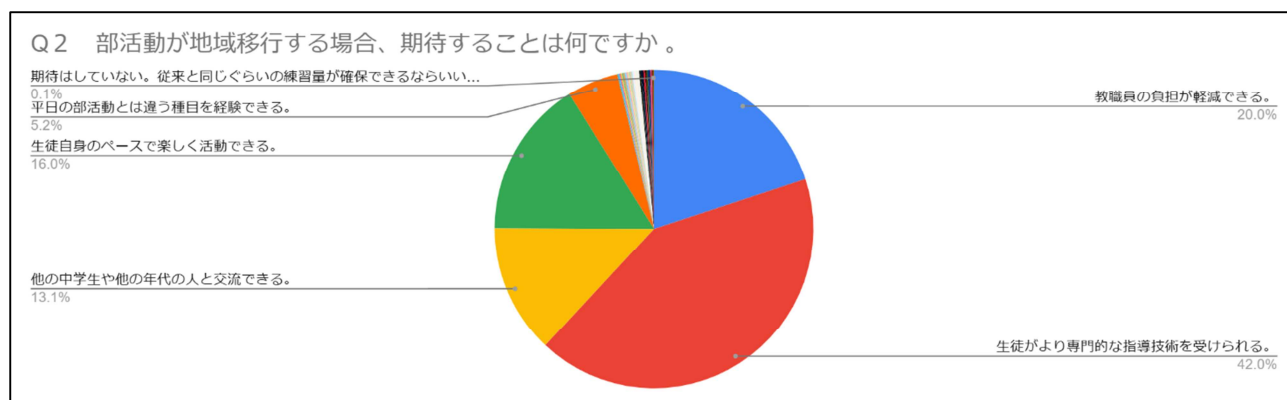
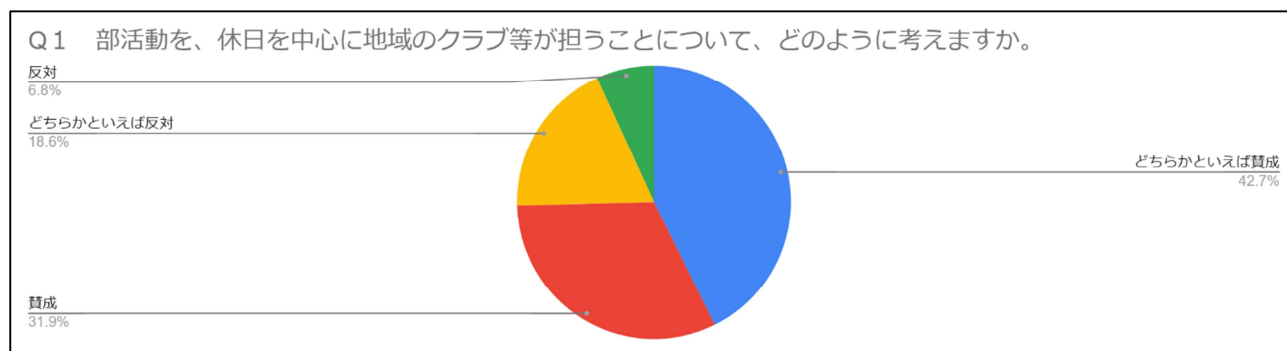
2024年12月に実施された73人の教職員を対象としたアンケートから、部活動の地域移行については、肯定的な意見が多数を占めていることがわかります。

- ・ **地域移行への賛否:** 教職員の87.7%が部活動の地域移行に賛成またはどちらかといえば賛成と回答しています。主な理由は、教員の負担が軽減されること(62.5%)、専門性の高い指導を受けられること(23.4%)、そして多様な活動経験が得られること(7.8%)が挙げられています。
- ・ **反対意見:** 一方、反対派の主な理由としては、「部活動が学校の教育効果に貢献している」という点が37.5%と最も多く挙げられています。その他、地域移行によって保護者の金銭的な負担が増えることや、大会運営の負担が教員に残ること、指導者の確保が難しいといった懸念も示されています。

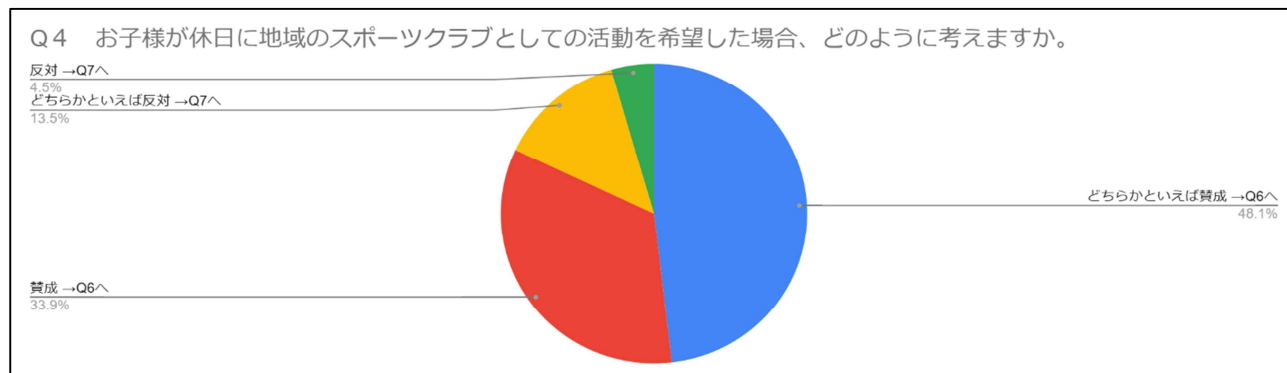
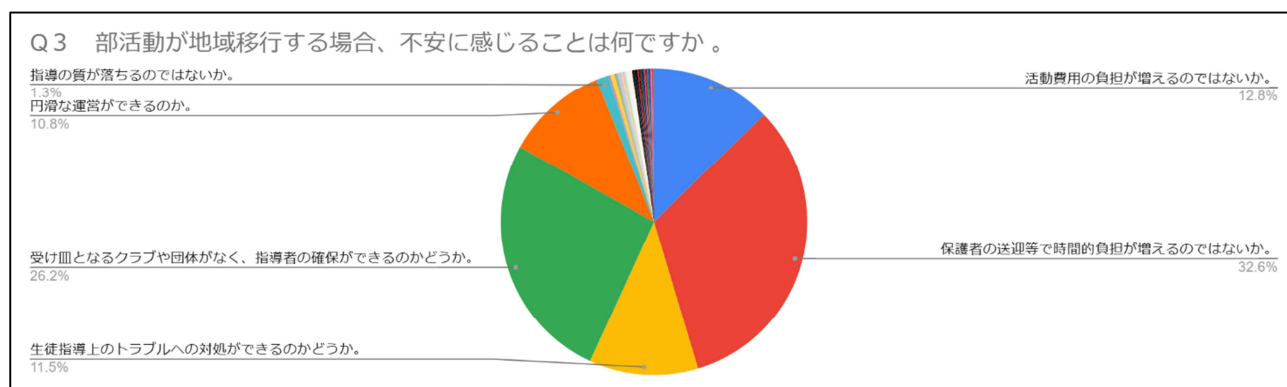
兼職兼業への意向:

地域移行後に「兼職兼業」で指導することを希望する教職員は17.8%にとどまり、82.2%が希望しないと回答しています。指導を希望する教職員は、勤務する学校の地域か居住する地域かで意見が二分されました。

部活動アンケート（保護者用）（回答数862）



※期待はしていない。従来と同じぐらいの練習量の確保ができるならいい。それから疑問がひとつ、平日の部活と土日の部活は違う種目ができるようになる？それは、4月～5月ぐらいまでのお試し期間で行うというなら分かるが、毎度種目を変えるのはチームプレイのある種目では難しいのでやめて欲しい。・・・0.1%



Q5 期待する活動内容を教えてください。

休日が部活で終わらないか？という気持ちはあるが、本人が希望す...

0.1%

平日の部活動とは違う種目を経験できること。

7.2%

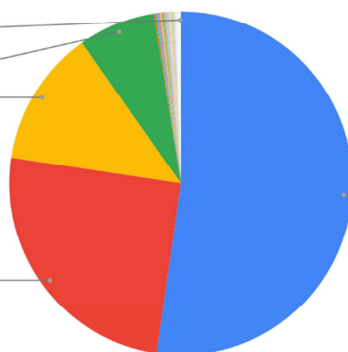
他の中学生や他の人と交流できる活動であること。

12.8%

自分なりのペースで楽しく活動できること。

25.1%

より専門的な技術指導を受けられる活動であること。
52.3%



※休日が部活で終わらないか？という気持ちはあるが、本人が希望するなら尊重したい。・・・0.1%

Q6 反対する理由を教えてください。

先生の負担を減らすのが目的なため

0.7%

外部の指導者や指導方法への不安がある。

11.1%

他の中学生や他の年代の人との交流が心配である。

1.3%

活動場所までの移動が生じた際、危険が伴う。

2.6%

活動費用の負担が大きい。

7.8%

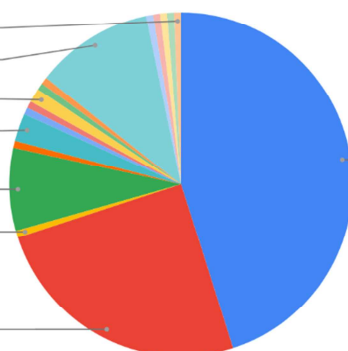
そのスポーツをやらせたいというより部活の仲間や先生との関係が...

0.7%

学校の部活動がないなら土日は休ませたい。

24.8%

保護者の送迎が生じた際、困難となる。
45.1%



※そのスポーツをやらせたいというより、部活の仲間や先生との関係を築くことが大事だと思うので・・・0.7%

Q7

土日の部活動が地域移行（学校の先生以外の指導者が指導する）された場合、保護者の費用負担についてどのように...

賛成 →Q9へ

16.0%

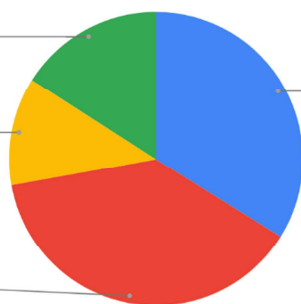
反対

11.8%

どちらかといえば賛成 →Q9へ

38.3%

どちらかといえば反対
33.9%



Q8 保護者の費用負担額（月に2～4回程度）についてどのくらいが妥当ですか（スポーツ安全保険掛金を除く）。

わからない

10.9%

月に5000円程度

7.9%

月に4000円程度

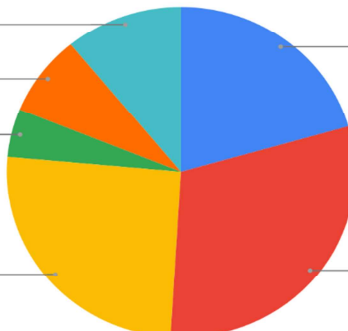
4.7%

月に1000円程度

25.5%

月に3000円程度
20.6%

月に2000円程度
30.4%



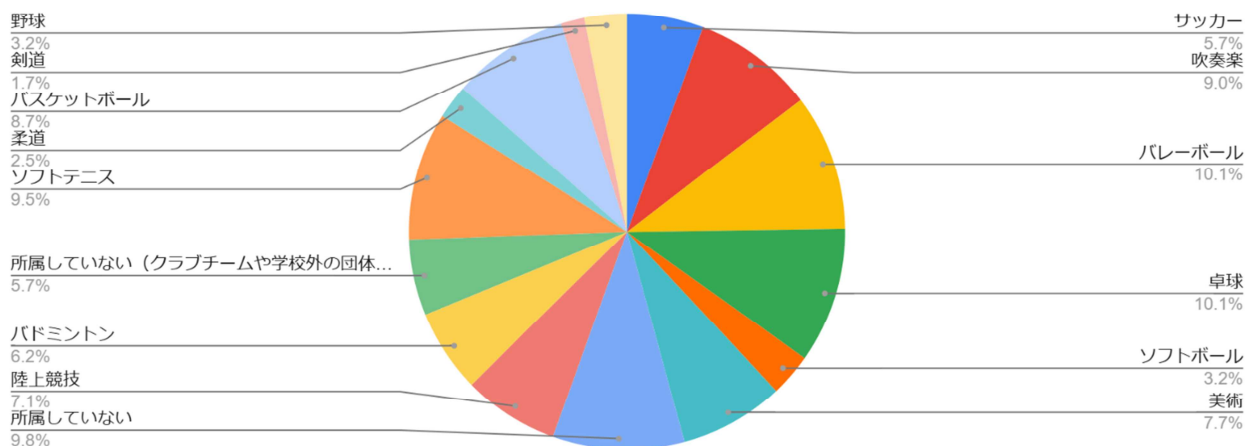
保護者の意見

862 人の保護者を対象にしたアンケートからは、地域移行に対する期待と不安の両方が見受けられます。

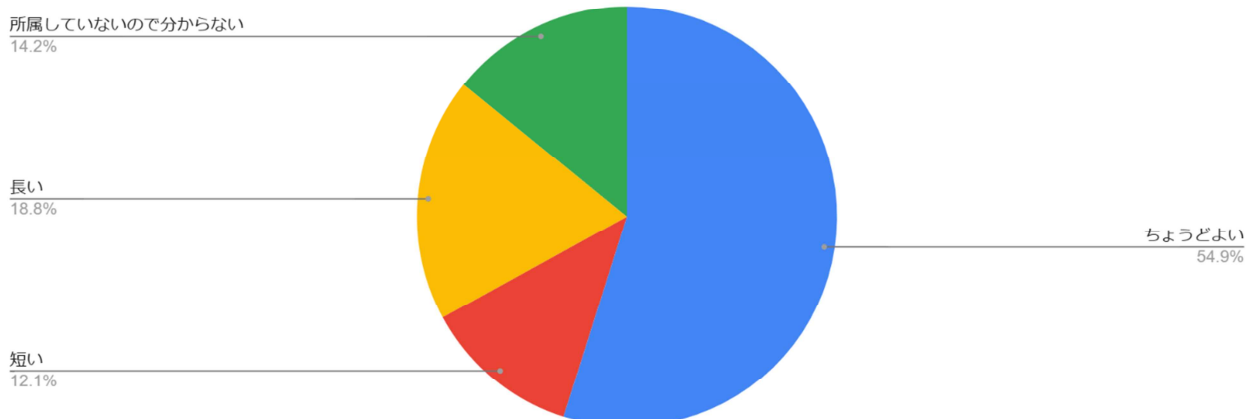
- **地域移行への賛否:** 保護者も地域移行に賛成する声が多数派で、全体では 74.6%が賛成またはどちらかといえば賛成と回答しています。特に、休日に地域スポーツクラブとして活動することには 82%が肯定的な考えを示しています。
- **期待する点:** 保護者が最も期待しているのは、「生徒がより専門的な指導を受けられる」こと(42%)です。次いで、「教職員の負担が軽減される」こと(20%)、そして「生徒自身のペースで楽しく活動できる」こと(16%)が挙げられています。
- **不安な点:** 一方で、保護者の大きな懸念は、送迎や活動費など保護者の時間的・金銭的負担が増えること(32.6%)、そして「受け皿となるクラブや団体がなく、指導者の確保ができるか」という点(26.2%)です。
- **費用負担:** 活動費については、月 2,000 円程度(30.4%)または月 1,000 円程度(25.5%)が妥当と考えている保護者が多いことがわかります。

部活動アンケート（中学校1、2年生用）（回答数634）

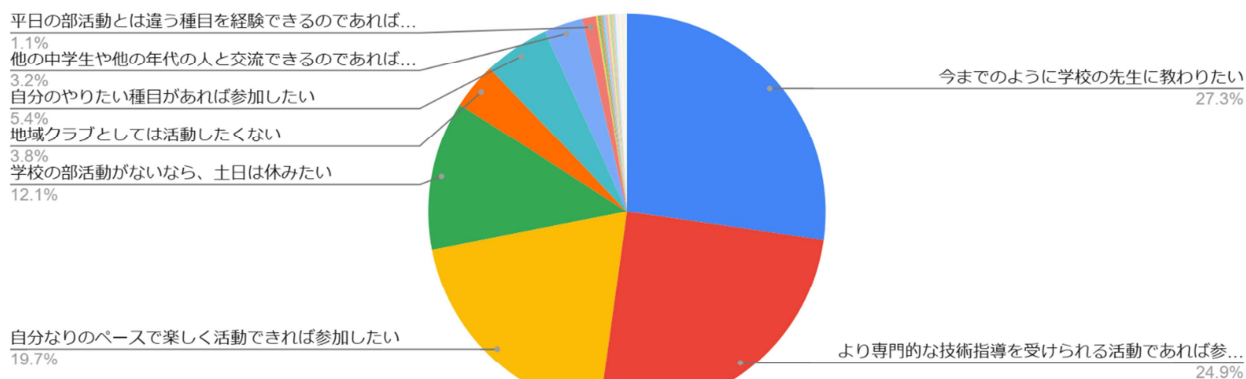
Q1 学校での部活動を教えてください。



Q2 中学校の土日の部活動時間（土日どちらか3時間程度）について、どのように考えますか。



Q3 部活動の地域移行（学校の先生以外の指導者が指導する）についてどのように考えますか。



部活動アンケート（小学校5、6年生用）（回答数369）

Q1 中学校に入学後に入りたい部活動を教えてください。

野球, サッカー, 陸上競技, ソフトテニス, ソフトボール, バスケッ...

0.3%

陸上競技, 所属しない

0.3%

ソフトテニス, ソフトボール, バドミントン

0.5%

剣道

1.9%

卓球, バドミントン

1.6%

バレーボール, バドミントン

1.6%

バドミントン, 美術

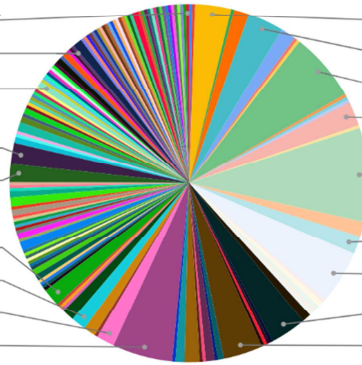
1.4%

吹奏楽

1.6%

バレーボール

5.4%



バドミントン

3.3%

卓球

3.3%

バスケットボール

6.2%

陸上競技

2.2%

所属しない

8.4%

吹奏楽, 美術

1.6%

美術

4.9%

サッカー

3.3%

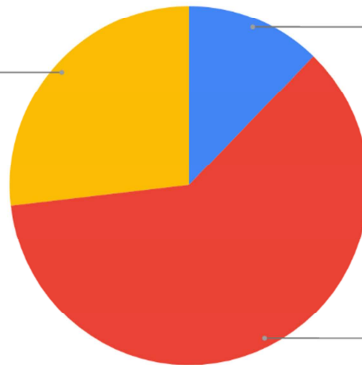
ソフトテニス

3.5%

Q2 中学校の土日の部活動時間（土日どちらか3時間程度）について、どのように考えますか。

長い

26.8%



短い

12.2%

ちょうどよい

61.0%

Q3 部活動の地域移行（学校の先生以外の指導者が指導する）についてどのように考えますか。

他の中学生や他の年代の人と交流できるのであれば参加したい。

2.7%

学校の部活動がないなら、土日は休みたい。

19.2%

自分のやりたい種目があれば参加したい。

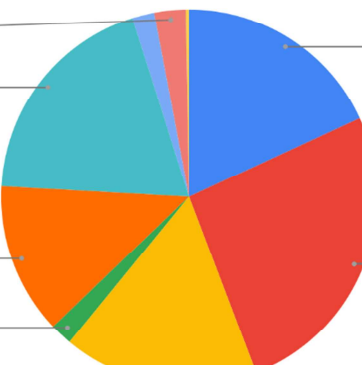
13.0%

地域クラブとしては活動したくない。

1.9%

今までのように学校の先生に教わりたい。

16.8%



より専門的な技術指導を受けられる活動であれば参加したい。

18.2%

自分なりのペースで楽しく活動できれば参加したい。

26.0%

生徒(児童)の意見

中学生と小学生(5、6年生)を対象としたアンケートでは、地域移行に対して様々な意見があることが明らかになりました。

- ・ **休日の活動時間:** 中学生、小学生ともに、土日の部活動時間(3時間程度)は「ちょうどよい」と感じている生徒が半数以上(中学生 54.9%、小学生 61.0%)を占めています。
- ・ **地域移行への期待:** 生徒が地域移行に賛成する主な理由は、「より専門的な技術指導を受けられる」(中学生 24.9%、小学生 18.2%)、「自分のペースで楽しく活動できる」(中学生 19.7%、小学生 26.0%)といった点です。
- ・ **反対意見:** 地域移行に反対する生徒の多くは、「これまでのように学校の先生に教わりたい」と回答しており、中学生では 27.3%、小学生では 16.8%に上ります。また、「学校の部活動がないなら、土日は休みたい」という意見も少なくありません(中学生 12.1%、小学生 19.2%)。

この部活動アンケートをまとめると、教職員・保護者・生徒の三者間で、部活動の地域移行に対する異なる期待と懸念があることがわかります。

教職員の視点

教職員の大多数(87.7%)は地域移行に賛成しており、その最大の理由は「教員の負担軽減」です。一方で、反対派は「部活動が学校の教育効果に貢献している」ことを重要視しています。また、地域移行後も「兼職兼業」で指導したいと考える教員は少なく、わずか 17.8%にとどまります。

保護者の視点

保護者も地域移行には肯定的で、74.6%が賛成またはどちらかといえば賛成です。特に期待しているのは、「生徒が専門的な指導を受けられること」と、「教職員の負担が減ること」です。しかし、送迎や活動費など「家庭の金銭的・時間的負担が増えること」、そして「指導者の確保」には大きな不安を感じています。

生徒の視点

中学生・小学生ともに、現在の休日の部活動時間を「ちょうどよい」と感じている生徒が半数以上を占めています。地域移行については、「より専門的な指導を受けられるなら参加したい」という意見がある一方で、「これまでのように学校の先生に教わりたい」と考える生徒も多く、地域移行に反対する理由の一つとなっています。また、「部活動がないなら土日は休みたい」と考える生徒も一定数います。

このように、地域移行は教職員の負担軽減に大きく貢献すると期待される一方、保護者の経済的・時間的負担や、生徒の活動機会・人間関係の変化など、さまざまな課題を解決する必要があることがわかります。